

庭から見つけたきせつのへんか

錦町立一武小学校 3年 岡村 茜里

1 研究の目的

- (1) 庭の気温がきせつとともにどうへんかするかを調べる。
- (2) きせつによって庭の花や木がどうへんかするかを調べる。
- (3) きせつによって庭で見られる動物について調べる。

2 研究の方法

- (1) 庭の気温がきせつとともにどうへんかするかを調べる方法

- ア 庭先のベランダの柱に温度計を設置し、7:00と19:00に気温をはかる。
- イ 気温をはかるとき、同時に天気や気づきもメモする。
- ウ アとイの結果は、ノートに記録し、パソコンでグラフ化する。(写真1)



写真1 パソコンでグラフ化

- (2) きせつによって庭の花や木がどうへんかするかを調べる方法

- ア 春夏秋冬、きせつごとの庭全体を写真で記録する。(写真2)
- イ 庭の木で、特に大きなサクラ(ソメイヨシノ)、カキ、クリの写真をきせつごとに写真で記録する。(写真3)



写真2 夏の庭の様子 冬の庭の様子

- ウ イ以外にも、きせつによる庭の花や木の様子を写真で記録する。
- エ 春夏秋冬だけでなく、梅雨や台風の際の花や木の様子も写真で記録する。



写真3 春のソメイヨシノ 夏のソメイヨシノ

- (3) きせつによって庭で見られる動物について調べる方法

- ア きせつごとに庭で見つけた動物(主に昆虫)を写真で記録する。
- イ 捕まえた昆虫の一部は、虫かごに入れてしばらく観察し、写真で記録する。
- ウ きせつによって、昆虫の体がどうへんかするかも、写真で記録する。
- エ 多く見られた昆虫の一部は、標本にして保存し、観察する(写真4)。



写真4 庭で捕まえた昆虫の標本

3 研究の結果

- (1) 庭の気温がきせつとともにどうへんかしたかについて

- ア 1年間で、最高は8月11日19:00の30.1℃、最低は12月19日7:00の-5.3℃だった。
- イ 晴れの日には昼と夜の気温の差が大きく、雨の日は、1日の気温の差があまりなかった。

- (2) きせつによって庭の花や木がどうへんかしたかについて

- ア サクラ、カキ、クリ、すべてが夏に葉が多くしげり、冬は葉が無くなっていた(写真3)。
- イ 春や夏は、花が多く咲き、秋は実や種ができ、冬はかれたり無くなったりする様子が見られた。

- (3) きせつによって庭で見られた動物について

- ア 春は、花のまわりで多くの昆虫が見られ、その後で実や種ができる様子が見られた。
- イ 多く見られた昆虫は、バッタであり、季節や場所によって色や大きさが変わっていた(写真5)。



写真5 はい色のトノサマバッタ

4 研究の考察・まとめ

- (1) 平成26年11月23日から平成27年9月30日までの気温測定から、気温と天気に関係があると考える。
- (2) 庭のしばも、きせつによって、春に生え、夏に長く伸び、冬にはかれていく様子が見られた。
- (3) 植物の観察を続けたことで、きせつのへんかにより庭の花や木の変化も起こると考える。
- (4) 梅雨の時期は、雨が続き、植物も折れたり、曲がったりするすがたが見られた。
- (5) 春から秋にかけて多くの昆虫が見られ、春はハチやチョウ、夏や秋はバッタやトンボが多く見られた。
- (6) 夏から秋にかけてアキアカネは赤みが強まり、トノサマバッタは場所に合った体の色にへんかした。